

## 質問コーナー「教えて！井桁先生！！」におけるQ&A

Q 1 2歳と0歳の子供を育てている母親です。2歳の子の要求（お菓子を食いたい、おもちゃが欲しいなど）にどこまで付き合うか悩んでいます。ある程度の要望は聞いてあげたいものの、聞きすぎるとわがままな子に育たないか心配です。子供の要求はどこまで聞くべきでしょうか。

A 1 上の子は、下の子が生まれてから、どうしてお母さんやお父さんの心が下の子の赤ちゃんに向いてしまうのだろうと感じる中で、過度な要求をして、お母さんやお父さんが自分のことをどのぐらい思っているのかを確認したくなるということはよくあることだと思います。

上の子はお母さんやお父さんの思いに対して不安を感じているので、「赤ちゃんは、まだ小さいから今はお世話をするけど、あなたの話もちゃんと聞くからね」とか、「赤ちゃんはお父さんに預けてお母さんと2人だけで散歩に行こうか」など、上の子が安心できるような声掛けをすることで、過度な要求も落ち着いてくるのではないのでしょうか。

Q 2 子供の挑戦が少し危険だと感じたときに見守るか、声を掛けようか迷うことがあります。どのように判断していけばよいのでしょうか。

A 2 もちろん、命に関わるようなことが予想されるときには何が何でもだめだと伝える必要があります。やってはいけないことを伝えるときは、一方的にだめと言うのではなく、なぜだめなのか、その理由を明確に伝えることで、「なぜ危険なのか」を自分で考える癖を身につけさせていくことが大切です。

Q 3 押し付けではなく、落ち着いて話を聞ける子供たちを育てるには、どんな保育が必要でしょうか。

A 3 自分の思いばかりを押し付けるのではなく、子供が今どんな気持ちでいるのかなという共感的な姿勢で子供に関わると子供は大人の話をよく聞きます。人の話を聞く前に子供が何かをやるうとするのは、大人が同じような対応をしているからかもしれません。

まずは、「あなたはどうしたかったの？」という聞く姿勢で、子供に向き合ってみましょう。

Q 4 母子保健推進員として、乳幼児の母親と接する機会が多いのですが、母親の話をもまずは聞くという姿勢であったり、言い過ぎてもいけないなと思ったりと色々考えながら活動しています。活動する中で、何かアドバイスがありましたら、教えてください。

A 4 こうするといいですよと直接的に教えたいくなるかもしれませんが、そうではなく、今抱えているものを一緒にもちますから、お手伝いしますから、一緒に考えていきましょうという姿勢で寄り添うことが大切です。

寄り添う中で、お母さんが悩んでいるより、お母さんがニコニコしている方がどんなことよりもお子さんにとって良いことなんですよと伝えてあげられると良いですね。

Q 5 (子供を保育する立場として) 子供に対して私自身、物事の良し悪しをこちら側が先行して考え、先回りしてしまいがちです。また、子供に寄り添いたいのですが、周りの大人の目線も気にしてしまい「おもしろいね」「いいね」というのを躊躇してしまいます。

A 5 子供たちにとって今、本当に大事なことは何かという視点で、同僚性を高めていくことが重要であり、そのためには、同じ仕事をしている人たちでコミュニケーションをしっかりとっていくことが大切です。同僚間で子供のポジティブな行動について伝え合い、共有していくことが、子供の行動をより温かく見守ろうという雰囲気づくりにつながっていくのではないかと思います。

Q 6 子育て支援で乳幼児への絵本の読み聞かせに関わっています。コロナもあり、子供に触らないように気を付けていますが、ふれあいも大切なのでは、といつも心苦しく思っています。親族ではない支援者がどの程度、触れてもいいのか、と悩みます。どのくらいのふれあいなら良いのでしょうか。

A 6 まず、ウイルスについて正しく認識することが大切だと思いますが、現時点では、換気が十分ではない場合や狭い場所に大人数でいるような場合は、顔と顔がすごく近づくようなやりとりは避けた方が良いでしょう。